

■久永市議の質問に対する教育部長の答弁

2017年10月5日

私から御質問の1番目「優先順位の考え方について」の2点目「小中学校へのエアコンの設置について」及び3点目「小中学校の施設の整備、修繕等について」の各項目についてお答えします。

はじめに、2点目の1項目目の「普通教室へのエアコンの設置に向けて具体的な検討はされているのか」、2項目目の「普通教室へのエアコン設置の必要性について、どのように考えているか」については、関連がありますので一括してお答えします。

ここ数年は夏が猛暑となることが多く、児童生徒の体調管理は重要な課題であると認識しております。そのため、これまで図書室、パソコンルーム、音楽室などの特別教室や職員室、会議室のほか保健室に空調機の整備を計画的に実施してまいりました。また全ての普通教室には、扇風機を1教室に4台設置しており、一定の効果が得られております。今後の学校施設の中長期的な展望を計画する上で、児童生徒の体調管理の観点から重要な項目として考えております。

次に、3項目目「給食室にスポットクーラーなどを設置し、調理員の体調管理を行う必要があると考えるが、見解は」と、4項目目「配膳室にもエアコンを設置する必要があると考えるが、どのような計画になっているか」については、関連がありますので一括してお答えします。

給食の調理をする際に多くの熱源を利用するため暑くなる給食室には、建設年度によって設置台数の差はありますが、エアコンを設置しております。また、学校や保健所とも相談をしながら、給食室への追加や配膳室への設置も順次実施しております。

次に、3点目の1項目目「緊急に改修すべきものがすぐに対応できない理由は何か」についてですが、学校から緊急に改修してほしい案件について連絡があった際は、早急に学校に出向いて状況を確認して、学校と調整を図りながら対応しております。また、すぐに解決できない案件については、応急対応をした上で、次年度に向けて計画的な対応をしております。

次に、2項目目「各学校からの要望を予算化していく計画は、どのように立てられているのか」についてですが、学校からの要望はまず年度当初に把握しますが、新たに発生した故障や保守点検等により発見された不具合のほか、近隣等の学校以外からの要望など、複数の要望を取りまとめます。その上で、工事等の必要性和学校現場が受入れ可能かを考慮して優先順位を決定し、年度間、学校間で一定の均衡が保てるように全体的な財政負担等のバランスを考慮して計画しております。また、それと合わせまして、教育委員会では予算要求に先立ち、学校やPTAからの要望を反映した教育要望をお聞きし、各校との予算ヒアリングを行ったうえで、教育委員会として精査して予算要求を行っております。

以上です。